

まちづくり推進組織の会議記録

会議の名称	平成17年度第3回かごしままちづくり会議
開催日時	平成17年7月25日(月) 13:30~15:25
開催場所	市民福祉プラザ5階中会議室
出席者 (委員) (市職員)	委員14名、市職員6名 宮廻会長、津曲副会長、西園委員、萩原委員、今別府委員、四元委員、岩元委員、岡本委員、中迎委員、永山員、奈良迫委員、野口委員、草留委員、新地委員 宇治野企画部参事、中園企画調整課主幹、その他関係職員
傍聴者数	0名
事務局	鹿児島市企画部企画調整課
会次第	1 開会 2 報告 (1)平成17年度第2回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について (2)平成17年度第1回地域まちづくり会議における意見等の検討状況について(全市的事項) (3)平成17年度第2回地域まちづくり会議について 3 協議 (1)第四次鹿児島市総合計画基本計画の改訂案について 4 その他 5 閉会
会議の概要	1 開会 2 報告 (1)平成17年度第2回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について 事務局から、平成17年度第2回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について説明。 (2)平成17年度第1回地域まちづくり会議における意見等の検討状況について(全市的な事項) 事務局から、平成17年度第1回地域まちづくり会議における意見等の検討状況について(全市的な事項)説明。 (3)平成17年度第2回地域まちづくり会議について 事務局から、平成17年度第2回地域まちづくり会議について説明。 3 協議 (1)第四次鹿児島市総合計画基本計画の改訂案について 事務局から、第四次鹿児島市総合計画基本計画の改訂案について説明。 会長から、総合計画について総論的説明。

委員から、基本計画は10月中に公表するスケジュールとのことだが、予算の編成時期との関係から、実施計画の策定期間についてはどうなっているのか質問あり。

事務局から、実施計画については現在策定中であり、11月頃を目処に基本計画との整合性を踏まえながら公表し、その後、新年度予算に取り組んでいく旨説明あり。

会長から、実施計画のローリングについての市の考え方を確認。

委員から、地域にはそれぞれ特性もあり、その地域によって事業の採択ができたりできなかったりという事情も分かるが、できるだけ地域の格差が生じないような実施計画を策定してほしい旨意見あり。

委員から、人口フレームの平成23年度の高齢化率が21%という数値がでているが、各地域別ではどうなっているのかとの発言あり。

委員から、地域別計画の主な施策に関して、なぜ桜島地区の主な施策に市営住宅建設の記載がないのか、また、桜島地域の農業について、はねぎ、軟弱野菜を地域農業の重要作物として位置付けて地域計画の中で文章化してほしいとの発言あり。

事務局から、地域別の高齢化率の資料については手元にないため、後日資料として提出したい旨説明あり。

事務局から、市営住宅について、今後、市営住宅建設の可能性について旧5町地域を対象に調査を行う旨記載しており、どの地区に建設していくかは今後、担当部局において検討する旨説明あり。

事務局から、農業について、基本計画の段階では主な作物として触れているが、基本計画の性格上、あくまでも主なものについて載せたということでご理解いただきたい、実施計画あるいは予算で具体的な部分についてふれていきたい旨説明あり。

委員から、平成23年度まで総合計画を8年間全く触らないということではたしてよいのか懸念があり、微調整できるものと抜本的に変えなくてはならないものを振り分けて施策のリニューアル時期を設定していくべきでないかとの発言あり。

委員から、政令指定都市的発想を持ち、南九州の中心都市としての位置付けが必要ではないか、例えば、観光都市として鹿児島市を訪れる人がいるのだから、鹿児島空港の利用客を増やす取り組みを考えるべきではないか、また、農産品や特産品の県外への売りこみなど産業戦略・広報戦略を市としても考える必要があるのではないかと発言あり。

委員から、農業推進施策を基幹産業の一つとして位置付けるべきはないか、農林水産業従事者育成など、産業自体の振興が必要ではないかと発言あり。

委員から、ゾーニングについて、桜島地域全部が観光レクリエーションゾーンというは大雑把ではないかと発言あり。

委員から、地域別計画の松元地域では、特に、区画整理、市営住宅、茶業試験場跡地に大きな関心がある。また、「平田地区・内田上地区の飲料水供給施設については、地元と協議を行い、公営化について検討を進めます。」については旧松元町時代の長年の懸案であり、期待しているとの発言あり。

事務局から、お質しの各項目について地域の主な施策に全て盛り込んでおり、飲料水供給施設の公営化への期待については担当部局へ伝える旨発言あり。

委員から交通政策について、郊外においては車と公共交通を車の利用を前提として連携する一方で、都市部においては、公共交通の連携をとることで車の利用を抑制するというように地域によって考え方を分けてはどうか、また、高齢化や環境問題に対応した交通の方向性を考えていくべきではないかとの発言あり。

委員から、都市景観について、高層マンションが町並みを乱しているところがあり、高さを規制する必要があるのではないかと、施行された景観法を使い、景観を美しく守って作っていく働きかけがあってもよいのではないかととの発言あり。

事務局から、交通体系については、基本計画段階では細かい表現はできないが、実施計画あるいは来年度予算の作業にてご指摘の意見を踏まえて具体的な施策に反映していきたい旨説明あり。また、都市景観についても、合併により旧5町域を含めた新都市景観ガイドプランを策定することになっており、市民の方々の意見を伺いながら策定していく旨説明あり。

会長から、パークアンドライド等の新しい交通システムや、都市景観を維持するための規制となると実施計画ですぐに対応とはいかない面もあるのではないかととの発言あり。

委員から、現在の計画の中でも公共交通の連携について、乗り換えの際に長距離を歩かなければならない、乗り換えのたびに新しい料金体系であることなど現在ある公共交通システムに不合理な点があり、駅の裏口をつくる、乗り換えのためのバス停を近くするなど物理的な連携が必要ではないかととの発言あり。

会長から現在の公共交通システムを前提とする中で、利用しやすいものとなるよう、さらに検討してほしいとの意見である旨の発言あり。

委員から、区画整理、再開発においては、地域の声を吸い上げながら、それぞれの地域の特性をいかして進めてほしいとの発言あり。

会長から、地域の個性を生かしながら新生鹿児島市の一体的なまちづくりを進める一方で、地域間の格差などはできるだけ生じないように、市全体として底上げしていくような形が望ましいとの発言あり。

(2) その他

会長から、総合計画基本計画の改訂案以外の事項について意見を求める発言あり。

委員から、人と人とのコミュニティについて、基本計画の P71 の市立少年合唱隊の演奏活動については今後も継続してほしいが、この子どもたちの発表の場がもっとあれば、また、歌だけでなく市民劇団など自己表現する場を市が用意できないかとの発言あり。

委員から、各地域公民館があり、市民一人一芸の生涯学習も進んでいるが、コミュニティを拡大していきたい場合、場所が不足している。人口の交流濃度が高くなるようなコミュニティセンターも含めて、サロンとして異年齢の人々が集える場所について検討してほしいとの発言あり。

会長から、市民劇団等について行政主導というのは馴染みにくく、市民レベルで盛り上がったものを行政がサポートするという形が望ましいのではないかとの発言あり。

4 その他

事務局から、次回は11月頃の開催を考えており、総合計画基本計画の意見を踏まえ、実施計画の報告を行う予定である旨説明あり。

会長から、旧5町域でまだ行っていない地域での開催について協力願いたいとの発言あり。

5 閉会